登録セキスペの
維持費を徹底解説

3 年 15 万円の内訳と節約術 5 選

登録費・講習費の全内訳とみなし受講で最安 8 万円の実現法



結局いくらかかるんでしゅか？

3 年分の全内訳を今すぐ説明する



セキュリティプロ

【解説に入る前に】サービスのご紹介

セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

詳細を見る →

セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

詳細を見る →

**どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。**

© 2026 スプラッシュエンジニアリング

維持費の 3 本柱と費用の全体像

初回登録費（1 回のみ）

登録手数料＋登録免許税＋住民票で約 2 万円。更新時は不要

オンライン講習（毎年）

年 2 万円・約 6 時間の e ラーニング。 3 年で計 6 万円の固定費

実践講習（3 年に 1 回）

IPA 実践講習 8 万円または特定講習 5.5 万円〜。最大の節約ポイント

最安約 13.5 万円〜標準約 16 万円（みなし受講なら約 8 万円）



3年間の維持費シミュレーション

最安パターン

特定講習を選んだ場合

・登録費：約2万円
・オンライン講習：6万円（2万×3）
・特定講習：5.5万円
・合計：約13.5万円

VS

標準パターン

IPA実践講習を選んだ場合

・登録費：約2万円
・オンライン講習：6万円（2万×3）
・IPA実践講習：8万円
・合計：約16万円



節約の核心

みなし受講制度が適用なら3年で約8万円まで圧縮可能

維持費が「高い」と言われる 3 つの理由

義務講習の金銭負担

法律で義務づけられた講習のため毎年必ず 2 万円が発生する

時間コストの二重負担

3 年で約 20 時間以上を講習に充てる。業務外対応が多く疲弊感も



全額自腹かどうかの差

会社補助ありなら実質ゼロ。自腹だと 3 年 15 万円が丸ごと手出し

金額・時間・帰属先の 3 軸が重なると「高い」体感が増幅される

他の IT ・セキュリティ資格との維持費比較

国際資格（CISSP ・ CISM）

年約 2 万円で CPE 取得が条件。登録セキスペと費用感は同水準



国内資格（基本・応用情報）

更新不要・維持費ゼロ。比較すると登録セキスペは割高に映る

本質的な差

「義務講習が法律に基づく」点が他資格にない登録セキスペ固有の特徴

維持費を抑える節約術 5 選



1

特定講習を選ぶ

IPA 実践講習より最大 2.5 万円安い民間特定講習を活用する

2

資格手当を活用

会社の補助制度を確認・交渉して実質負担をゼロにする

3

経費計上する

個人事業主は研修費計上、給与所得者は特定支出控除を活用

4

早期受講で管理

更新漏れ→消除→再登録コスト約 2 万円を未然に防ぐ

5

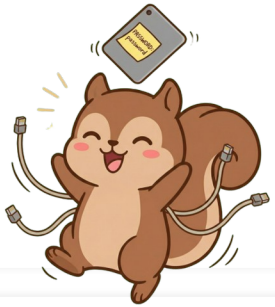
みなし受講を確認

実務経験要件を満たせば実践講習免除で年 2 万円の維持が可能

みなし受講制度で維持費を最小化する

対象者の条件

実務経験 2 年以上の登録者が対象。 IPA で要件の事前確認が必要



費用削減の効果

実践講習免除で 3 年約 8 万円。年換算 2 万円で CISSP と同水準

制度の本質

対象者かどうかで 3 年間に数万円の差が生まれる。まず IPA で確認を

維持費の元が取れる人・取れない人

元が取れる人

資格がキャリアに直結する

- セキュリティ業務に現在従事
- 転職・独立を視野に入れている
- 官公庁・大企業案件に関わる
- 会社の費用補助・手当がある

VS

元が取りにくい人

資格を活かす機会が少ない

- セキュリティと無関係の業務
- 名刺・プロフに使う機会がない
- 費用補助が全くない環境



判断の軸

一つでも「取れる条件」に該当すれば維持継続が合理的な選択

登録セキスペのキャリア活用戦略

転職市場での評価

コンサルタント

年収 600 ～ 1,200 万円。入札要件に含まれるケースが多い

セキュリティ監査

GRC ・監査の公開求人 4 社は 648 ～ 1,005 万円。官公庁案件で必須条件になる場合あり

フリーランスの単価相場

脆弱性評価・診断

月額 70 ～ 120 万円

コンサルティング

月額 80 ～ 150 万円

年 2 ～ 5 万の維持費で月数十万アップ



登録継続 vs 再登録のコストを比較する



登録消除のリスク

再登録で約２万円＋手続きの手間。講習サイクルもリセットされる



名称独占の希少価値

名称独占の国家資格。入札要件や信頼性アピールで差がつく



継続の合理性

迷っている段階では維持を続ける方がリスクは低く長期コストも小さい

まとめ

3 年間の維持費は約 13.5 ～ 16 万円（みなし受講なら約 8 万円まで圧縮可能）

特定講習・資格手当・経費計上・みなし受講の組み合わせで大幅削減できる

転職・フリーランス・社内昇進で活かせばキャリア投資として十分回収できる

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

セキュリティプロ・フリーランス ＞

セキュリティプロ・テンショク ＞

